



日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは

山田耕平
です

2023.7.6 No.486

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください！

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

右QRコードを
ご活用下さい

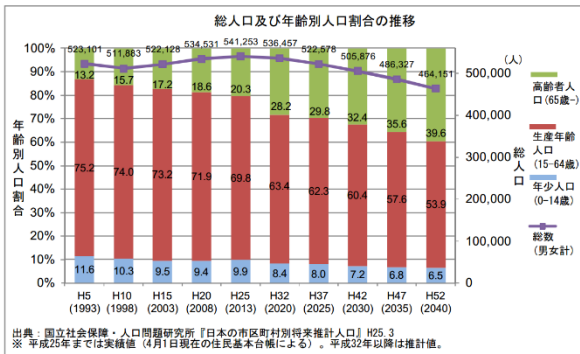


岸本区政のもとで検証作業が進む

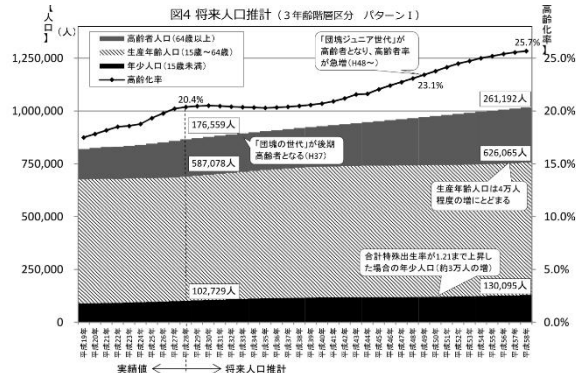
区立施設再編整備計画 徹底した検証こそ必要

◇少子高齢が激しく進む社人研の人口推計

(1) 総人口及び年齢別人口割合の推移



平成26年3月「杉並区区立施設再編整備計画（第一期）」より、杉並区の人口推計（上）



平成29年3月「世田谷区公共施設等総合管理計画」より、世田谷区の人口推計（上）

23区各区の将来人口推計は、長期的に人口は横ばいとなる見通しを示しており、杉並区のような急激な人口減少が発生しない。

これまでの計画は行政が一方的に施設のあり方を決定し、近隣住民や利用者に押し付けてきました。その結果、地域住民が作り上げてきたコミュニティを壊し、住民の区政への不信を拡げ続けてきました。

今後の計画は、これまでの計画を正し、住民主体で施設のあり方を決定していくことが必要です。

現在、岸本区政のもとで区立施設再編整備計画の検証作業が進められています。9月に開催される第3回定例会において、検証のまとめが示される予定です。

実態と異なる人口減少を煽り施設廃止を正当化する手法

平成26年3月に計画決定された「杉並区区立施設再編整備計画（第一期）」は、将来人口が急激に減少する人口推計をもとに、区税収入の減少などを理由に区立施設の廃止・削減・機能統合を正当化してきました。一方、実際の人口推移は増加傾向となり、税収も増加し続けています。

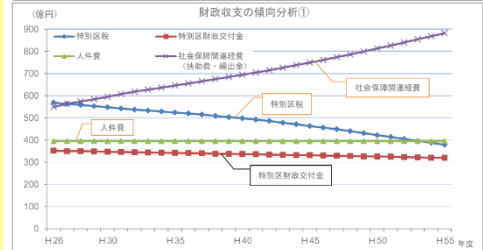
公共施設の管理については、総務省の指示に基づき、各地方公共団体が所有する全ての公共施設を対象に「公共施設等総合管理計画」を策定しています（杉並版再編整備計画）。しかし、23区各区の計画では、杉並区のように人口減少と税収減を煽り、大規模な施設廃止を合理化していません。

施設のあり方は住民主体で

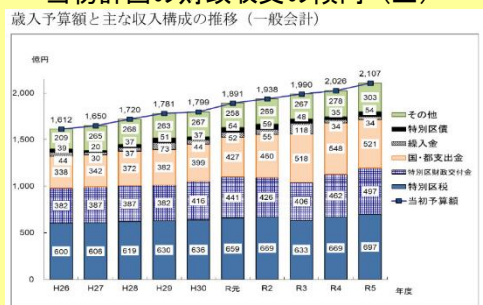
これまでの再編整備計画を検証するのであれば、このような基礎データのあり方を検証することが必要です。

税収も増加傾向 当初計画では減少…

繰入では、特別区税は30年間で、約190億円の減、また特別区財政交付金については、約32億円の減となる見込みがあります。一方、歳出では、社会保障関連経費が30年間で約333億円の増加が見込まれます。



当初計画の財政収支の傾向（上）



令和5年度区政経営計画書「財政規模の推移」より（上）

再編整備計画の当初計画では、特別区税収入は減少し続ける推計が示されましたが（グラフ上・青の線）、実際には、特別区税は増加し続けています（グラフ下・紺の棒グラフ）。